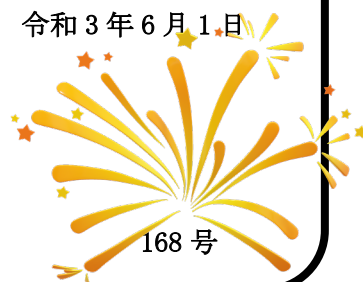




はねの



168号

会長就任に当って 14班 山岡 詔二

“あれっ”と思われる方も居られると思います再度の自治会長に就任する事になりました14班の山岡です、宜しく願います。

何故また、私なのか、いまさらくた云つても仕方がありませんので、会長として私なりの自治会運営等について挨拶方々少し記してみたいと思います。

「会員の現状」

現状の自治会運営の難しさは一言で“少子高齢化”が原因と言つていいでしょう。少し古いデータ「自治会三十年誌」を元に現状を推量していても、団地住民の六五歳以上の方が約七割近くを占めています。そんな年齢構成の中でも自治会運営の担い手の基礎となっているのは班長さんです。

「自治会組織の抜本的改革」

自治会運営の担い手の基礎となる班長さんの引受けが高齢の為難しくなっているのが現状です。

このような中でも何とか自治会則の四つの目的達成を維持しようと、過去に於いても役務の軽減、班の合併等、ここ数年その時々執行部が改革に取り組んできましたがそれも限界のようです。「検討委員会」のようなものを立ち上げ検討してみたいと考えています。

特別の腹案があるわけでも有りませんが・・・・・・。

又、組織問題とは別に会則目的の一つに「会員相互の親睦・扶助等の施策の推進」の目的から夏祭り、芋煮会等の行事を行っています。これらの在り方も一考を要するのかもしれない。特に夏祭りの会場準備は、班長さんが頼みなのですが皆様が高齢なので・・・・・・。

「取りあえずの取り組み」

“資源ごみ回収用箱”の所定場所への設置は、団地住民の持ち回りで行っていますがこれも高齢化に伴い設置場所まで持つて行くのが難儀になつております。ビン改修と同様に町当局が行ってくれるよう、以前に自治会として要望しています。が今一度色々な場（九団地会長会、区長会等）を通じて要望実現のため頑張つてみたいと思います。

先ずばみの明るくない挨拶ですが、宜しくご協力の程お願いします。



総会で挨拶される山岡新会長

参考

自治会の目的

- 一 回覧板の回付等区域内の住民相互の連絡
- 二 美化、清掃等区域内の環境整備
- 三 集会施設、防犯灯等共用施設の維持管理
- 四 会員相互の親睦、扶助等の施策の推進



防災センター前の花壇

創立50周年企画

『歴代会長に聞く⑧』

18代会長 安田喜世史さん(22班)

会長になった経緯

自治会には平成3年度に小久貫会長の下で生活部長を務めた後、長く仕事に没頭して自治会には貢献してきませんでした。その後平成20年より総務部長、副会長等を勤めた後平成27年に山岡会長の後を受けて自治会長に就任しました。

会長を引き受けるときは特に意識も無く、連絡を頂き、ああそうですかという程度でした。



楽しい思い出と辛かった思いで

「東日本大震災」の記憶、首都直下型地震予測や最近の風水害の危険を顧みて東京消防庁 本所防災館に一日見学体験ツアーを開催しバスで20人位の皆さんと行きました。

日帰り旅行の様な感覚で訪問し、風速10m/s以上の風と雨を体験、水没したクルマからの脱出体験、大震度体験、消火訓練等を楽しみ勉強してきました。

羽根野台では子供の数が大変少なくなっています、夏祭りを少しでも活性化して近隣の子供達に羽根野台夏祭りはとても楽しいお祭りだったとの思い出を作って貰いたいと思いました。

夏祭りイベント

新型コロナウイルス感染拡大状況から準備期間も考慮に入れると今年もイベントは中止することとなりました。

利根町交番の協力を仰いでパトカーの試乗を企画し、自治会初めて龍ヶ崎市南が丘自治会と早尾台自治会との間で、金券がどの自治会の夏祭りでも使えるような子供向けの仕組みを作りました。その結果大勢の子供達が互いの夏祭りで遊び、金券で好きな物を買ひ、祭りを楽しむ事が出来ました。

同時に古いテントはとても重く高齢者による扱いは重労働です、そこで軽く容易に扱うことの出来るテントを購入して省力化を目指しました。

特に力を入れたこと

高齢化を考慮して区民センター使用者の心肺停止事故を防止するために、AEDを購入して利根消防署の指導の下に班長を対象に毎年利用講習会を開催してきました。

「東日本大震災」の記憶を自治会の皆さんに留めて頂きたく利根町総務課のご協力の下、茨城県県南生涯学習センター 新家洋一様により「東日本大震災を忘れない」スライド講演会を現在の文化センターで開催いたしました。

今後の自治会の課題

羽根野台自治会は来年創立50年を迎えます。

しかし、羽根野台自治会の会員数は現在約642世帯、1442人ですが利根町の作成した2060年までの総人口の推計「人口ビジョン」を元に計算すると、約40年後の2060年には羽根野台自治会の会員数は57世帯減となり、人口は626人となってしまうです。そして高齢者率は恐らく80〜90%位になるかもしれませんが、考えたく有りませんが恐ろしくなります。

令和2年度 第49回羽根野台 自治会通常総会開催される

4月4日（日）午前10時より、利根町文化センターにおいて「令和2年度第49回羽根野台自治会通常総会」が、多くの会員の参加を頂き盛大に開催されました。

コロナ禍の影響により令和元年度の自治会総会は全体開催が中止となり、令和2年度は2年ぶりの全体開催となりました。

心配された町内のコロナ感染状況も2月上旬から約2か月間にわたり感染者が出ない事が総会の開催に向けて大きなおしになりました。

まず会長代行より、本日の総会出席者97名と書面表決票による参加者992名で参加総数が1,089名となり、総会成立定足数716名（令和2年3月15日現在構成員数^{1,431名}の1/2以上）を満たしているとの報告があり、本日の総会が成立したことが宣言されました。

笹川副会長の開会の辞に引き続き、中野会長よりこの一年を振り返って、コロナ対策に翻弄された一年であった事、多くの会員及びサークル関係者に

大変ご苦勞をかけた事等、自治会活動に対するご理解・ご協力への感謝の言葉が有り、まだまだ終息が見えない状況下、この一年の経験をいかしてコロナに打ち勝つていきたいと思いますとの挨拶が有りました。



又、来賓としてお招きした佐々木利根町長より、行政における現状と今後の施策等を中心にご挨拶を頂き、あわせてコロナワクチン提供の最新情報について報告がありました。



議長には12班の本田眞一氏が選出され、続いて書記として30班浜崎徹氏及び38班飯田恵美子氏の2名が指名され各議案の審議に入りました。

各議案の審議では、会長及び各部長より詳細説明があり、1号議案については監事より決算全般に関する監査状況が報告され、その後質疑応答を経て裁決に入り順次1号〜4号議案まで全ての議案が可決・承認されました。

尚、各議案の可決承認数は総会参加総数^{1,089名}（書面表決票992名、総会出席者97名）の過半数である546名です。

尚、総会出席者による賛否は議長判断で、全ての議案とも挙手による賛成状況を確認した上での表決結果となっています。

又、2号議案での質疑応答では、参加された会員より、空き家対策・防災に関する自治会活動のあり方・催事の際の寄附行為・助成金に対する法令順守等活発な質問意見がありました。

全ての議案審議終了後、今年度で退会される中野会長及び新たに会長に就任された山岡新会長からそれぞれご挨拶を頂き、記念撮影後、永田副会長から閉会の辞があり、令和2年度第49回総会が無事終了し新年度がスタートしました。

今年もコロナ禍での厳しい船出となりますが、羽根野台自治会も令和4年に自治会創立50周年を迎えます。

ここ数年、会員の高齢化・減少化・一人住まいの増加等様々な環境変化がスピードを上げてせまる中、新型コロナウイルスという過去に経験したことのない脅威が我々の身近に迫ってきています。

一方で域内への若い家族の入居も多く見られ、会員の皆様に安全・安心で生活できる社会をめざしているいろいろな施策を提供していく事が、今後の自治会にとって大切であると考えます。

次の時代に向けて、この一年間、新会長のもと会員の皆様のご意見もお聞きしながら活動していきたいと思っております。会員各位のご支援・ご協力をお願い申し上げます。





とよきや横の花壇

各議案の表決結果（書面表決票提出者＋総会出席者）は次の通りです。

- （1）1号議案 令和2年度事業活動報告及び一般・特別会計決算報告（案）
賛成 書面表決票 958名＋総会出席者（賛成多数）
反対棄権 34名
- （2）2号議案 令和3年度事業活動計画及び予算（案）
賛成 書面表決票 956名＋総会出席者（賛成多数）
反対棄権 36名
- （3）3号議案 令和3年度役員推薦（案）
賛成 書面表決票 959名＋総会出席者（賛成多数）
反対棄権 33名
- （4）4号議案 令和3年度羽根野台区区長推薦に関する件（案）
賛成 書面表決票 958名＋総会出席者（賛成多数）
反対棄権 34名
- （文責・会長代行 籠谷育英）

会計部長 菅沼 亜希子（14 班）

羽根野に越してきて1年。

自然豊かで穏やかな雰囲気、羽根野を選んで良かったなあと思う日々です。

今回、自治会の役員活動が初めてのことで、さらに責任ある役に就くことになり不安と緊張もありますが、役員の皆様の暖かい雰囲気を感じ、安堵するとともに地域の皆様のために頑張ろうという思いが湧いてきました。これまで、自治会と少し縁遠いところもありましたが、活動を通して自治会とは何かを学ばせて頂けたらと思っています。皆様にいろいろと教えて頂きながらの活動になると思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

生活環境部長 我妻 弓子（7 班）

今年度、部長を勤めさせていただくことになりました。初めてのことで、不安などありますが、生活環境部4人の力と先輩方のお力も借りながらコロナの中どれだけ活動が出来るか分かりませんが一年間無事に進めていけるように努力していきたいと思っていますので、よろしくお願いします。

福祉文体部長 松井 喬至（12 班）

まさかこの歳で、しかも二度目の大役を仰せつかるとは考えた事も無かったのですが、為り手が無く已む無く引き受けました。自治会活動に於ける考え方は以前と同じで『無駄や余計な事は省き役員の負担を減らす』と言う事には変わりありません。時代に即した効率的な自治会となる様に微力を尽くしたいと思います。心配事は、以前から難聴で困っているのですが最近では加齢に依る増進で更に悪化しています。皆様にはご迷惑かけます事と思いますが、何卒ご理解ご協力をお願い致します。

クリーン作戦について
5月に行われる予定でしたが、
秋以降に変更となりました。

羽根野台団地 会員状況
令和3年3月末日現在

会員数	645世帯
非会員	101世帯
自治会不参加	7世帯
世帯数	753世帯

謹んでお悔やみ申し上げます

内山 弘志様	19班
久保田 實様	23班

退会
高橋 孝尋様
40班

入会
中崎 伊津子様
11班

会員の動向（4月1日現在）

集後編

今年度の広報委員を4人で初めて担当します。

今年度の広報の方針である、いかに分かり易く伝えるかを心掛けて活動する予定です。

又、自治会内の多くの活動出来るだけ伝え、多くの参加者と健康の増進を図ればと思います。
（石井 40班）

発行 羽根野台自治会
責任者 山岡 詔二
編集 自治会広報部